

ま 真室川町

# 議会だより

2023年7月25日

No. **163**



さなぶり手仕事まつり  
— 真校生徒もボランティア参加 —

キャッシュレス決済ポイント還元(6月定例会議案審議) …	2
一般質問 (5人登壇) ……………	4
町政の執行状況を調査(所管事務調査) ……………	8
老朽機械の計画的更新(第2回臨時会) ……………	10
請願・陳情・議会のうごき ……………	11
町民の声 ……………	12

真室川町LINE公式アカウント  
@mamurogawa\_town



暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！  
QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください

# 6月定例会

会期：6月14日～16日

## キャッシュレス決済ポイント還元

### 交流人口増+デジタル化の推進に効果

6月定例会は、14日から16日までの3日間の会期で開かれ、人事案件や一般会計補正予算の町長提出案件3議案を慎重に審議した結果、すべて原案のとおり同意及び可決されました。

#### ●人事案件…2件

#### ●補正予算…1件

計3件 すべて原案どおり同意及び可決

#### ◆農業委員の任命

高橋秀則議員 重要な役職であり以前は各地区より選出されていたが、制度が変わり現在は選考委員会で選考し町長が任命、議会で承認という形になったが、選考の経緯は。また、各地区からというパラメータが崩れたようだが影響はないのか。

#### ◆農林課長

以前の公選制が廃止され、現在は町長が任命する3年任期の制度となった。7月19日で任期満了となる為、3月27日付の全戸回覧文書で農業委員

及び農地利用最適化推進委員の一般公募を行った結果、農業委員については、団体からの推薦者と自薦で応募の方が9名おり、選考し適任と判断された。

#### ◆菅原道雄議員

選任にあたり学歴、職歴等、どのようにしているのか。町長 農業に対する姿勢を評価するものである。今、どのような取り組みをしているのかが重要である。

#### 一般会計補正予算

#### ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業について

姉崎園子議員 コロナウイルスが5類に移行し今までの対応と異なるのではないかと思う

がいかかがか。

#### ◆福祉課長補佐

令和5年度のコロナウイルスワクチン接種は、現在行っている春開始接種は、高齢者、基礎疾患を持つている人等を対象に行っている。9月以降に行う秋開始接種は、12才以上の全町民を対象に行う予定である。3カ月の間隔をあけて行い、今年度は無料で接種できる。

#### ◆キャッシュレス決済ポイント還元事業委託料

小松健弥議員 好評をいただいている事業で宣伝効果を考えると交流人口増など効果があると思うが、対象店舗数や、決済数、ポイント付与状況、今後の見

込みについて説明を。

#### ◆企画課長

物価高騰対策として実施しているが、町内外から好評をいただいている。第一弾キャンペーンの際には40店舗であったが、現在は59店舗まで拡大。決済数は、一日当りで比較すると第一弾の初日は246回であったが、直近では最大で1344回であった。決済額は、前回は61日間で7641万円、ポイント付与額が約1487万円、今回はまだ期間途中であるが、5月末までの33日間でポイント付与額は約1484万円となり、前回の約半分の期間でほぼ同額のポイント付与額となっている。今後の見込みとして、6月には更に対象店舗が5店舗増え、中体連3種目の開催会場もあり、また

「さなぶり手仕事祭り」も開催予定のため、この事業が大いに貢献できるものと考えている。菅原道雄議員 町外の方も多く足を運んでいると聞いている。交流人口が増え、町の商店街が潤うことは、嬉しいことであるが、業種により効果が出ていない方もいるようである。調査をして取り組んでもらいたいと思うがいかかがか。

#### ◆町長

交流人口プラスデジタル化に向けての施策の融合の中で、相乗効果を狙っていくわけである。事業主も我々と一緒にこの機会に独自のセールス・キャンペーン等で努力してもらえれば、もっと伸びていくものと考えている。

#### ◆企画課長

キャッシュレス決済可能店舗数が

昨年度同時期より3倍に増えている。制度になじんでもらうことが重要である。東北で企画をしているところが、当町だけであるため注目も受けている。近隣の県市町村からの来町があり、費用対効果と課題について検証していく。6月からプレミアム商品券の購入申込の受付も開始する。

#### ◆社会福祉施設物価高騰対策

平野勝澄議員 積算根拠は。施設の経費増大に対応できているか。福祉課長補佐 施設の抽出調査では年17%程度経費が増大していることから、昨年の補助事業と同様に県の基準で積算している。

#### ◆町観光物産協会補助金について

#### ◆菅原道雄議員

沖縄から花火の時期に来町されると聞いていたがどのようなことなのか。

#### ◆町長

最上広域と沖縄中部広域の交流の中で、真室川町のPRをして来たところ議会の方々に、市町村長も同行されることとなった。広域の歓迎会では、真室川音頭を披露し、当町では夕食と花火鑑賞を予定している。

#### ◆企画課長

今年70回の節目の花火大会であり、沖縄中部広域からのお客様が来町するので、花火会場の準備経費として計上している。

#### ◆錦町住宅修繕工事

小松健弥議員 修繕工事追加予算が必要になった理由は何か。

#### ◆建設課長

シロアリ被害を確認するために令和4年12月までに行っ

た8戸の抽出調査で6戸に被害が確認されたため錦町住宅全体の追加調査を行っている。

#### ◆当初予算に計上しているのは抽出調査で把握している分のため、追加調査で修繕が必要と判断した部分を補正予算とした。

#### ◆佐藤正議員

修繕の内容はシロアリ被害についてだけか。

#### ◆建設課長

今回の補正はそうだが、工事が進む中で修繕が必要な部分が出てくれば再度予算調整しながら対応する。

#### ◆高橋秀則議員

錦町住宅について非常に老朽化が進んでおり、耐用

#### その他の議案

#### ◆令和4年度緑越明許費の報告2件

※緑越明許費とは、年度内に終わらない支出を、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することが出来るもの。

## 「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

## 町政を問う

(●印は要約して掲載しています)

1. 姉崎 園子 議員 ..... P 4・5
  - 緊急通報システムについて
2. 小松 正弘 議員 ..... P 4・5
  - 子育て世帯の経済的負担軽減策と実現の計画性は
3. 小松 健弥 議員 ..... P 4・5
  - 町立病院でのプライバシーの保護を
4. 平野 勝澄 議員 ..... P 6・7
  - 新型コロナウイルス移行後の対応は
5. 佐藤 正 議員 ..... P 6・7
  - 町の林業に係る新たな支援の考えは

緊急通報システムについて

町長

住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに取り組む



姉崎 園子 議員

議員 室内に設置したセンサーが動きを読み取って通報するシステムも必要と考えるがいかがか。

町長 本町の緊急通報システム事業については、一人暮らし高齢者宅に緊急通報用端末とペンダント式発信機、火災感知器を設置し、緊急に援助が必要な時に発信機のボタンを押すことで、また火災の場合は温度に反応し最

町長

今年度と来年度で令和7年度からの新しい計画を策定する



小松 正弘 議員

議員 子育て世帯の経済的負担を軽減するためにどのような支援施策を考えているか。また、どのような計画で実現していくか。

町長 現在の第2期町子ども・子育て支援事業計画の計画期間が令和6年度までとなっているので、今年度と来年度において、令和7年度を始期とする次期計画の事前準備と計画策定を予定している。

子育て世帯の経済的負担軽減策と実現の計画性は

町長

他病院の現状を踏まえ実施に向け対応中



小松 健弥 議員

議員 先の3月議会において個人情報保護法の改正に伴う議案も承認された。個人のプライバシーや権利・利益を保護するための法律として個人情報保護法があるわけだが、行政においては、情報管理や守秘義務、情報漏洩防止対策などしっかり行っていたら必要がある。本町には、町立真室川病院があるが、

町長 厚生労働省の「医療・介護関係事業者における個人情報適切な取り扱いのためのガイドランス」では、外来患者を名前で呼び出すことについては、患者の氏名は、個人を識別できる情報であり、「個人情報」に該当す

町立病院でのプライバシーの保護を

計の際、数回名前で呼ばれ、診察室では医師との病状や病名といった会話が中待合室まで聞こえてしまう場合がある。個人のプライバシーを保護する観点からは問題になる部分と思われる。県立病院等と同様の対応はできないか。

町長 合があることについては、診察室の仕切りについても材質や形状の見直しを検討し、よりプライバシーに配慮した上でスムーズな診療が行えるよう対応していく。

ご家族向けの見守りを支援するような機能を追加すれば多大な業務量の増加が想定されることから、救急活動を維持するための人員確保の面からシステムの拡充は難しいと考える。

者やそのご家族が相談に来られた時や、訪問時、地区での出前講座の際などにも緊急通報システム事業を含めた町のサービスを周知している。引き続き、丁寧な説明に努め、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに取り組んでい

携に活用できる。ハード・ソフトに関わらず、新たな施策の資料にしたい。更に、町政座談会や各種団体をはじめとする各界各層との情報交換を通じ、今後のあるべき施策について、判断をしていく。一方、政府においても「異次元の少子化対策」を掲げ、令和6年から3年間に集中して取り組む「こども・子育て支援加速化プラン」を推進するとしている。これは

く影響することから議論や制度の動向を注視しながら計画的・総合的な子育て支援策を展開する。

町長 最近のランドセルは高額になってきている。必ずランドセルが必要な場合も含め、ニーズ調査の中で検討する。

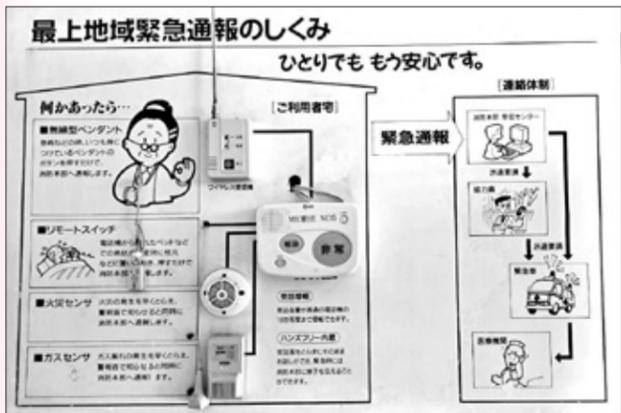
町長 現状では、トラブルは発生していない。今後も国から通知されている登録作業手順を遵守し、交付申請の周知と交付率の向上に努めていく。



その他の質問

マイナンバーカード登録のトラブル状況は

町長 年度初めに全戸配布する「町福祉サービスのお知らせ」や広報誌、町ホームページによる周知を行い、5月に開催の民生・児童委員定例会では事業内容を説明し、支援に繋がるよう協力をお願いしている。高齢



## □新型コロナウイルス5類移行後の対応は

町長

■これまで同様の感染症対策を行っていく



平野 勝澄 議員

**議員** 5類移行で社会的活動の制限緩和の一方、医療費の自己負担や、感染の増加も懸念される。町の対応は。

**町長** 2月下旬の広報やホームページなどで、医療費の公費支援の段階的な縮小や、ワクチン接種の公費負担の継続、マスク着用の個人判断など、変更点の周知を行った。5月10日

の区長文書では、医療費は9月末まで公費負担が継続されること、ワクチン接種の対象者と本町の接種日程、感染時の相談窓口と診療・検査機関などを盛り込み、町立病院の発熱外来や入院病床の確保は継続して対応していくことをお知らせした。

町立病院では引き続きマスク着用をお願い

し、自動検温機器と手指消毒用アルコールを継続して設置している。発熱がある方は電話してから受診していただく旨のチラシを掲示、受付窓口でも発熱や風邪症状について確認を行っている。発熱などが確認された場合は他の患者さんがいない空気清浄機がある個室や患者さんの車の中で検

## □町の林業に係る新たな支援の考えは

町長

■町林業振興協会等と連携しながら必要な振興策等の検討を重ねる



佐藤 正 議員

**議員** 当町では農地、山林が多く、基幹産業として発展し、町の経済を形成してきた。近年、農業に関しては米価の下落、林業に関しては木材価格の低迷による山林の放棄が目立っており、特に冬期間の倒木による停電、通行止め等の被害が拡大している。こうした状況を踏まえ、都道府県

は林業従事者に経営改善を目的とした林業木材産業改善資金制度を創設しているが、会計検査院の検査結果によると、全国的に資金総額の半分以上が繰り越されている。当町における、林業に係る県をはじめとした町の補助制度等の利用状況は。また、町として今後新たな支援策の考えは。

**町長** 林業木材産業改善資金の制度を活用することで、事業者では高額な林業機械等の購入資金を無利子で利用し、町内の事業者の多くが高性能林業機械の導入を行っている。他にも県の支援制度はあるが活用された事業者はない。町単独補助として「元気な林業創生事業」を創設し、国・

### その他の質問

●障がい者等の状況の把握と支援へつなげる取り組みは

**町長** 関係者や関係機関と連携して対応していく

査や診察を行い、明らかに発熱がある場合は薬局で販売している検査キットで検査したうえで受診をお願いしている。面会は禁止から制限に緩和している。これまで同様の感染症対策を行いながら、引き続き患者さんや家族に寄り添った対応に努めていく。

**議員** 薬局での検査キット購入をお勧めすることは保険診療から外れる。対応を考え直しては。

**町長** スムーズに診察できるようにするためだが、ほかの自治体病院などでどう対応しているか参考にしながら検討したい。



マスクは個人の判断で

県の補助事業に採択されなかった事業者等への高性能林業機械の購入支援事業を実施しており、これまで4事業者と1個人がこの事業を活用している。令和4年度から、新たに林業新規就業者育成支援事業を実施し、3事業者が活用している。新たな支援としては、森林資源デジタル化推進事業により町内全域の調査を実施している。この調査により、これまで現地で実施していた作業等の省力化、スマート林業が図られるものと考えている。町内を含めた最上地域は、県内の他地域と比較しても林業・木材産業の環境整備が進んでいると考えている。引き続き、町林業振興協議会等で林業関係者との意見交換を行いながら、

### その他の質問

●今後のほ場整備計画は

**町長** 地区、地域の総意に基づく新たな整備の要望があれば、県と連携を図りながら進めていく

必要な振興策等について検討を重ねていく。



ほ場整備の様子(平枝地区)

町内所管 事務調査

総務文教常任委員会

6月28日、29日

(所管する課)

総務課・企画課  
町民課・会計室

教育委員会

(調査した箇所、評価

及び指摘事項)

※抜粋要約して掲載

○防災行政無線更新工

事の進捗状況

・順調に進められている。10月からの運用に向け、引き続き、業者に対する進捗管理を徹底させたい。

・戸別受信機の設置工

事にあたり、費用の個人

負担が発生する場合がある

ことへの周知など、きめ

細かい対応を図られた

たい。

○梅里苑キャンプ場予定

地と整備計画

・キャンプ場整備により、一層の誘客が見込



キャンプ場予定地調査状況

まれることから、オープンに向けて効果的なPR方法、また、冬期の活用方法等について、指定管理者と十分な協議を進められたい。

レス決済の恩恵を受けられない町民も見受けられることから、プレミアム商品券をはじめとした経済活性化のための様々な施策を引き続き実施されたい。

健全な成長と学びに尽力されている姿勢が伺えた。

など、利便性が向上し、快適に利用されている様子が見られた。なお、グラウンドの水はけが悪い状況が見受けられるが、子どもたちのより良い保育環境のため、対策を図られたい。

常任委員会は、議案や請願について詳細に審査する機関です。委員会では、より適切な審査を行うため、毎年所管事項について町内および県外先進地の現地調査を行っています。

その調査をもとに、町に対して評価・要改善事項を指摘し、よりよい町政に反映させていくこととしております。(要約のうえ掲載しております)

○キャッシュレス決済の経済効果

・キャンペーンによって、町内外の多くの利用実績があり、町内の消費喚起、デジタル化推進に大きな効果があつたものと思われる。

・一方で、キャッシュレス決済の恩恵を受けられない町民も見受けられることから、プレミアム商品券をはじめとした経済活性化のための様々な施策を引き続き実施されたい。

・今後の課題として、各所管課が協力、連携し、町全域の設置箇所や状況を把握し、精査統一を図り、利用者にわかりやすい案内標識の設置など検討されたい。

・児童保育の運営状況  
・職員の処遇改善、保護者の希望に寄り添った対応が図られている。  
・利用者も増加傾向にあることから、安心して利用できるよう、定期的な避難訓練等、有事に備えた業務対応に当たられたい。



産業福祉常任委員会

7月3日、4日

(所管する課)

建設課・農林課

福祉課

町立真室川病院

(調査した箇所、評価

※抜粋要約して掲載

○社会資本整備交付金

事業(野々村新田平岡

線防雪柵設置工事)

・優先度の高い箇所から着工したことにより、風雪時でも視認性が格



防雪柵設置工事

段に向上し、事故防止に大きな効果を発揮している。残りの区間についても、計画通り完成するよう進捗管理に努められたい。

○町道東町錦町線外流

雪溝整備事業(旧たちばな幼稚園付近)

の進捗状況

・豪雪地における排雪

作業軽減対策事業として、地域住民が待ち望

んでいた事業であること

から、関係者の協力を得

ながら、スムーズな事業実施に当たられ

たい。

○ほ場整備事業(平枝、

沼田、中村地区)

・計画通り進捗しており、整備済み箇所については

農作業効率が大いに向上

することが期待される。農業後継者

問題解消の観点からも、

早期の事業完成及び完成後の

維持管理における各種交付金の有効活用につ

いての支援に当たられたい。

○ほ場整備事業(真室

川北部地区)

・今後のほ場整備計画と隣接している箇所で大

雨の際に集落用排水路が水

上がりする箇所が見受けら

れることから、ほ場整備に



林道小又八敷代線

ついても、地域住民や利用者から修繕の要望があつた場合は、速やかに

対応されたい。

○森林環境譲与税の活用

状況

・町の観光資源にも活用

されるなど、多岐にわた

り活用されている。町内

には伐期を迎えた木が多

いことから、所有者と連

携を図り、計画的に伐採、植

林を進め、森林の維持に努

められたい。なお、経営

管理を町に委ねる場合、

林業事業者への再委託

により、林業者の後継

者育成及び新規就業者

発掘も期待されること

から、有効活用を図られ

たい。

○安楽城保育所の施設

概要

・施設の大規模改修に

より、必要に応じて部屋

の広さが調節できる

ようにしたい。

○町立真室川病院の経

営状況

・この秋、新・県立新庄病院が開院するが、最上地域北部の拠点医療施設であることから、関係機関との連携を密にし、継続的な常勤医師確保の取り組みなど、利用者が安心して医療を受けられるよう、病院の安定経営に努められたい。

更新したMRI機器等の有効活用と、引き続き、計画的な機器設備の更新を図られたい。



●指摘事項に対する町の対応については、後日掲載予定です。

# 第2回臨時会

会期：5月19日

# 老朽機械の計画的更新

## 安心・安全な暮らしのために

第2回臨時会は、5月19日に1日間の会期で開かれ、専決処分の報告や契約案件、一般会計補正予算など町長提出案件6議案を慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決されました。

### ◆専決処分（町立病院会計補正予算）

平野勝澄議員 看護師の採用公募したが、応募がなかったため、減額補正だが、患者の受け入れ等で影響はなかったか。また、現在は看護師は充足されているか。

な更新なのか、故障による購入か、何年使用した機械か。

業者・入札に参加した業者は何社か。



### ◆ロータリー除雪車購入契約

小松健弥議員 計画的

高橋秀則議員 入札にあたり、案内を出した

◆路線バス購入契約  
菅原道雄議員 納期はいつになるか。

### 一般会計補正予算

◆スクールバス購入契約  
小松健弥議員 同時期に同じ業者から路線バスを購入する訳だが金額の違いはなぜか。



### その他の議案

- ◆専決処分（町税条例の改正）
- ◆専決処分（都市計画税条例の改正）
- ◆専決処分（一般会計補正予算）
- ◆町道野々村新田平岡線防雪柵設置工事請負契約

注）議案名・事業名は一部簡略表記しています

## 請願

●平和、命、暮らしを壊す大軍拡、大増税反対  
についての請願

【提出者】新庄・最上母親大会連絡会

代表 岸 昌子

【紹介議員】

【結果】不採択

●食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願

【提出者】もがみ中央農業協同組合

代表理事組合長 押切 安雄ほか

【紹介議員】

【結果】採択 ※意見書として関係大臣に提出

【提出先】衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

## 陳情

●国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情

【提出者】インボイス制度を考えるフリーランスの会

代表 阿部 伸

※議員へ配布のみ

●沖縄戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう改めて求める意見書の提出を求める陳情

【提出者】沖縄に応答する会@山形

代表 漆山ひとみ

※議員へ配布のみ

●全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情

【提出者】山形県を明るくする会

代表 井上 均

※議員へ配布のみ

# 議会のうごき

令和5年4月～7月

- 4月28日(金) 最上地方町村議会議長会会議
- 5月10日(水) 最上地方町村議会議長会臨時総会
- 11日(木) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 17日(水) 町議会運営委員会、同全員協議会
- 19日(金) 町議会第2回臨時会、最上地区広域連合議会臨時会
- 22日(月) 最上広域市町村圏事務組合議会全員協議会
- 23日(火) 最上県懇話会
- 23日(火)～24日(水) 町村議会議長・副議長全国研修会
- 25日(木) 町議会議長会正副会長・理事・監事合同会議
- 26日(金) 最上広域市町村圏事務組合議会臨時会
- 最上開発協議会総会、最上市町村議会議長会臨時総会
- 国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会総会
- 6月1日(木)～2日(金) 県町村議会議長会臨時総会
- 2日(金) 県及び市町村長、議会議長会議
- 7日(水) 町議会運営委員会、同全員協議会
- 14日(水) 新庄中核工業団地企業誘致促進協議会定時総会
- 14日(水)～16日(金) 町議会第2回定例会
- 19日(月) 新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会役員会・総会
- 最上地域開発推進懇談会
- 21日(水) 最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会総会、最上市町村議会議長会定期総会
- 最上地方町村議会議長会定期総会
- 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 27日(火) 総務文教常任委員会所管事務調査
- 28日(水)～29日(木) 最上広域市町村圏事務組合施設視察
- 29日(木) 最上地区広域連合議会定例会、山形県懇話会定時会員総会
- 30日(金) 社会を明るくする運動メッセージ伝達
- 7月3日(月) 町スポーツ協会表彰式および第37回町民総合体育大会総会開会式
- 3日(月)～4日(火) 産業福祉常任委員会所管事務調査
- 5日(水) 県町村議会議長会理事会
- 7日(金) 真室川中学校同窓会懇親会
- 8日(土) 日本青年会議所第56回山形ブロック大会新庄大会
- 11日(火) 町教育懇談会
- 12日(水)～13日(木) 県外先進地視察研修
- 19日(水) 県町村議会広報研修
- 20日(木) 町区長会との懇談会
- 21日(金) 知事と町村議会議長との意見交換会

○議会広報常任委員会の開催（6/30、7/6、7/11、7/14）

## 町教育関係者との懇談会

◆7/11(火)

議会では、例年、町教育関係者（教育委員、小中学校校長・教頭、教育委員会事務局）との懇談会を開催しております。

今年度のテーマ「読書活動の取組みについて」

各小中学校では、児童生徒が本に親しむ機会を増やすために様々な工夫をしています。図書室に、子どもたちの興味を引くような展示物と一緒に図書を配置している学校や、子どもたちが手に取りやすいように、教室の近くに図書を配置している学校など、各小中学校から取組内容や



成果などを紹介していただきました。また、町教育委員会事務局から、今後予定されている学校施設等の修繕について説明をいただき、質疑応答や意見交換を行って教育行政に関する理解を深める良い機会となりました。

## 町民の声

民生委員の研修として、この度、町議会傍聴をさせていただきました。私にとつては、初めてのことです。議場に入って、まず目に入ったのは両側の景色。自分のこれまでの議場イメージが覆りました。なんでも、多目的ホールになっているとのこと。大きな窓から庁舎周辺の景色が見下ろせて、とても明るい雰囲気です。席に着くと、町長、副町長、教育長さんをはじめとした、町行政を担う方々のお顔が見えます。これも不思議な感覚。傍聴者の私たちは、町行政の方々と対峙する形で席についています。あえて、議員さんと同じ向きで質疑を傍聴できるように工夫されたということかもしれないと思いました。

さて、重々しく、令和5年第2回議会定例会が開会し、新型コロナウイルス移行後の対応や林業木材産業基金の利用状況、今後の圃場整備計画などについて一般質問と答弁がありました。この質疑応答がまさに議会なわけで、大変興味深く拝見しました。内容についての具体的な感想こそ持てませんでした。議員さん方からも町職員の方々からも、よりよい施策を目指した真剣な思いを感じる事ができ、貴重な経験となりました。町民の幸せと町の発展を目指し、無駄なく、効果的な行政を実現するため、今後とも、活発な議会運営をお願いしたいと思つたところです。

民生委員 伊東 守さん

(新栄町)

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



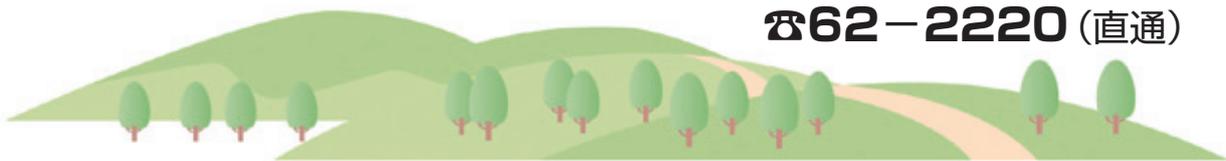
お問い合わせは

議会事務局まで  
☎62-2220 (直通)

## 傍聴お待ちしております

● 次回の  
定例会は

# 9月です



## 編集を終えて

令和5年5月8日に新型コロナウイルスが2類から5類に移行し町民の皆様もひと安心した所ではないでしょうか。しかしながら、町内でも感染が確認されておりまだ油断はできません。この度の議会広報委員の改選に伴い、議会広報委員長長の職務をおおせつかりました。委員長をサポートし広報委員の皆さんと共によりよい議会広報の作成に努めて参ります。2年間よろしくお願ひ致します。これから暑い日が続きますが、水分補給をこまめに行い、熱中症に気をつけていただきたいと思います。(舟生源氏)

## 議会広報常任委員会

委員長	小松 健 弥
副委員長	舟 生 源 氏
委員	姉 崎 園 子
委員	小 松 正 弘
委員	平 野 勝 澄